安政六未年七月九日

箱館奉行所

竜吉

栗十郎

武兵衛

御奉行所

十六

未七月 [illegible]

近江守

河津三郎太郎
[illegible]之進
向山栄五郎
鈴木尚太郎
小林総三郎
杉本播磨
小島源之丞
市中[illegible]
[illegible]

書簡翻訳致し候処 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

兼之納相成候間申上候
未 七月

乍恐以書付奉願上候
私儀年来奉蒙 御國恩家業相續仕
頃加之極難渋仕合奉存候ニ付今般御含所
御築出シ地ニ而普請ニ而も相立隣家浜田屋兵右衛門
地面同様築出シ御免ニ相成候由承り候ニ付乍恐
奉願上候私儀も浜手之方ニ家業ニ而取扱中候間
方御見通シ無御座候ニ付甚難渋之場合ニ御座候間
何卒前書之趣御憐察ニ築出し地御免被

被成下置候様偏ニ奉願上候、随而奉恐入候御儀ニ
者御座候得共、萬一用意ニ不存寄候ニ付、右為
御冥加聊御金所御蔵出ニ而地借御用
相立候様仕度、不埒之私共奉恐入候、此段奉願上候
下置候御儀ニ御座候ハヽ、有難仕合奉存候
御許容之、御聞済被成下置候様偏ニ奉願上候
以上

安政六年
未七月廿日

内済所 年番
右郷年番
代 猪喜 印
丁代 又兵衛 印
名主 庄作 印

御役所様

前書之通奉願上候ニ付、奥書印形仕候 以上

白鳥 今右衛門 印

前書之通ニ頼ハ雲子地先海面築ニ成頼之地ニ御
ハ曾隣地境ニ有事ハ屋敷並ニ雲ヒ築立ニ根下仕
進ニ付ハ御水上納ニ御手ニ曾無ニ付一ツ存且
御望ニ奉而築ニ付御事請ニ付御用ニ在ニ成間地石
御所ニ居上納仕前ニ之通ニ南村ニ而ニ思召
ハ曾是又郡ニ地ニ御手ハ脱ニ御渡承知ニ最ハ
仍御請諸文ハ差上申如此件

安政六未年七月　日

右
[illegible]
代
猪[illegible]

此行人惣代

沛[illegible]

十七

未七月

近江当

河津三郎右衛門
安間純之 近
向山兼大郎
山村恵之郎
橋本悦蔵
小島源之 清
市中反絆越

書面実行寺絆借地頼之後反開之反差隙未無之間
頼之通絆借之絆月可代尤菓木植付之地不可付萬事
絆後洪之通宜和永之為来ハ其上度近捨之年免除後
可申候ハ此段相同申候